

(様式1)

令和7年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 020	提案機関名 湘南農業協同組合
要望問題名 高温乾燥に強い施設野菜の品種選定及び栽培技術の確立について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】  当JA管内は、キュウリ、トマト、種なしピーマン等の施設野菜が栽培され、生産者も100名を越える有数の産地である。しかしながら、令和5年産は、7月から9月に掛けての高温の影響により、キュウリでは葉焼け、着果不良が発生し、トマトや種なしピーマンでは着果不良や尻腐れ果が発生した。 対策として、こまめな灌水、温度の高い時間はカーテンを掛ける、カルシウム資材の葉面散布等高温対策を指導したが、被害を抑えきれなかった。今後も、夏から秋に掛けて高温が続く恐れがあることから、高温に強い野菜品種の選定や高温対策技術の確立について検討願いたい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内      ③4～5年以内      ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター    ②畜産技術センター    ③水産技術センター    ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中    ③継続検討    ④実施済    ⑤調査指導対応    ⑥現地対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) I-1(2)ア 施設園芸の環境制御技術・共有技術の開発 (7) 施設トマトの環境制御による端境期生産技術の開発		
対応の内容等	現在、施設トマトを対象として8月から9月にかけて安定生産が可能となる技術開発に取り組んでいます。ご要望の高温に強い品種の選定や高温対策技術の確立につきましても上記課題の中で引き続き実施します。 なお、キュウリおよび種なしピーマンを対象とした品種選定や高温対策技術の確立については、施設トマトで試験研究を実施していることから、実施する予定はありません。		
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内      ③4～5年以内      ④5～10年以内		
備考			